

灯



NHKの「縮小ニッポンの衝撃」という番組で、人口独り勝ちの東京も遠からず減少に転じ深刻と報じられ関心を呼んでいる。しかし地方から見れば今更という印象で、すでに大半の市町村は20年以上前から減少の時代に突入し、限界から消滅へと深刻度は桁違い。

負のスパイラル



草野 義輔

地方創生と政治家はいうが現実には努力するなら資金援助をという程度の政策が大半。東京以外の市町村は皆、活性化を目指し人口を、産業を、あるいは観光客を少しでも増やそうと必死だ。

この数十年予想されたことに与野党を問わず目を背けてきた政治のつけが、ここにきて顕著になった。手遅れかもしれない。さあどうする！（昭和学園高校理事長・日田市）

だが東京以外はほぼ全て減少なので結果奪い合いで勝者は一握り。地方にも希望をと声を上げて、政治家は当選して初め

て政治家なので、彼（女）らは人口の多い所の有権者のご機嫌うかがいをするようになる。都市部の人が喜ぶ政策を必然的に取り上げることになり、地方は二の次三の次になりそうだ。東京一極集中で人口＝票が増える↓票を取り込める政策を政治家は作る↓東京がますますよくなりさらに一極集中が進む↓地方はますます疲弊し衰退する↓政治家は票の少ない地方を見捨てる…。こんな負のスパイラルが渦巻いていないか。官僚も省庁の地方移管には猛反対と聞く。

（昭和学園高校理事長・日田市）